



決算説明会

2007年3月期中間期

2006年10月31日
ミネベア株式会社

1. 業績の説明

2. 方針と戦略

業績の説明

取締役 常務執行役員 加藤木 洋治

連結業績ハイライト

(百万円)	2006年3月期	2007年3月期	前年同期比 伸び率	2007年3月期 中間期	
	中間期	中間期		期初計画	達成率
売上高	155,739	163,998	+5.3%	152,000	107.9%
営業利益	7,224	13,367	+85.0%	11,500	116.2%
機械加工品	11,112	13,317	+19.8%	12,150	109.6%
電子機器	3,887	50	黒転	650	黒転
経常利益	5,322	10,947	2.1倍	8,400	130.3%
税引前利益	4,425	11,114	2.5倍	8,000	138.9%
純利益	2,421	7,468	3.1倍	5,300	140.9%

為替の影響 06/3期中間期 07/3期中間期 売上高 +75.3億円、営業利益 +6.4億円
(US\$109.39円 115.26円、 タイパーツ2.69円 3.03円)

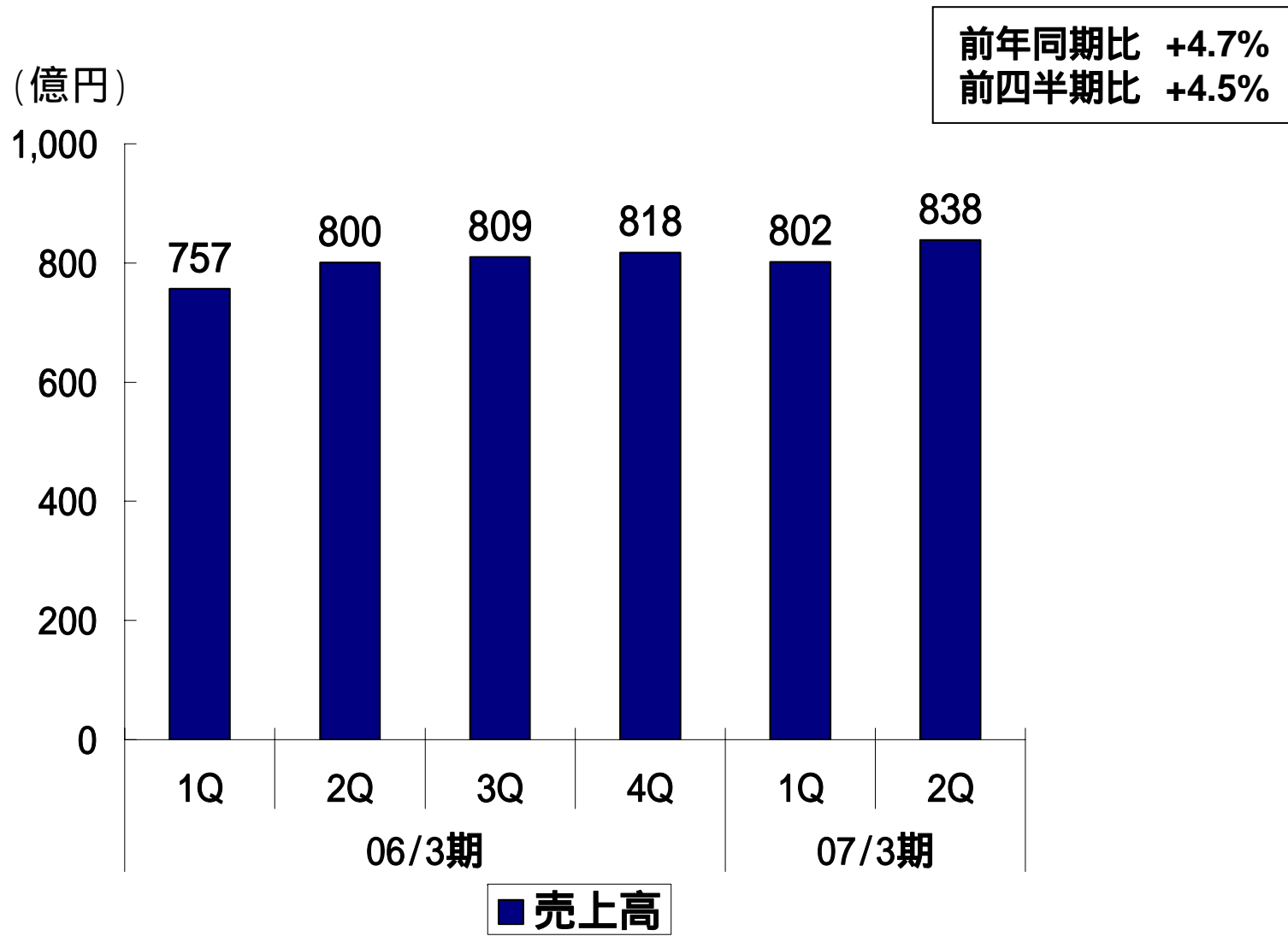
四半期業績

(百万円)	2006年3月期	2007年3月期		前年同期比 伸び率
	2Q	1Q	2Q	
売上高	80,049	80,201	83,797	+4.7%
営業利益	4,214	5,858	7,509	+78.2%
経常利益	3,159	4,713	6,234	+97.3%
税引前利益	3,595	5,205	5,909	+64.4%
純利益	1,441	3,288	4,180	2.9倍

為替の影響 06/3期2Q 07/3期2Q 売上高 +34.1億円、営業利益 +3.9億円
 (US\$111.50円 115.80円、 タイパーツ2.68円 3.05円)

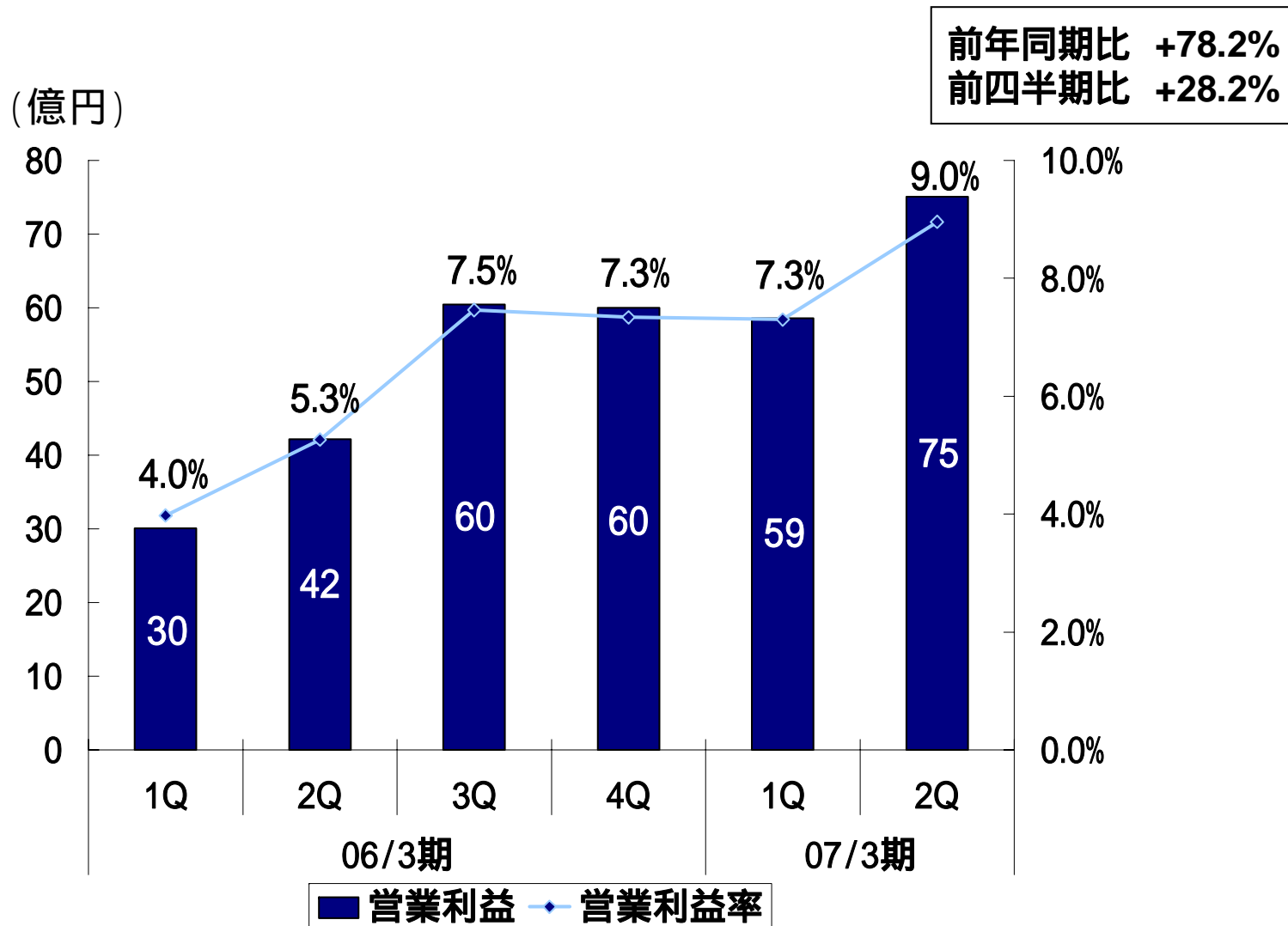
四半期推移

売上高



四半期推移

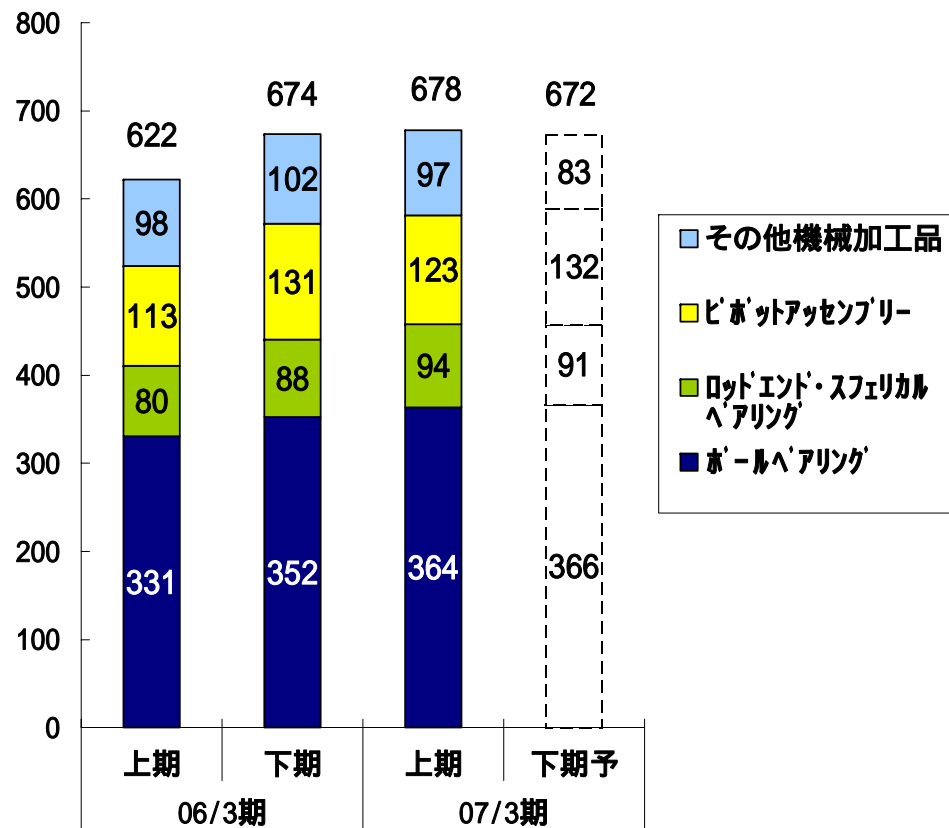
営業利益



セグメント別 機械加工品事業 売上高・営業利益

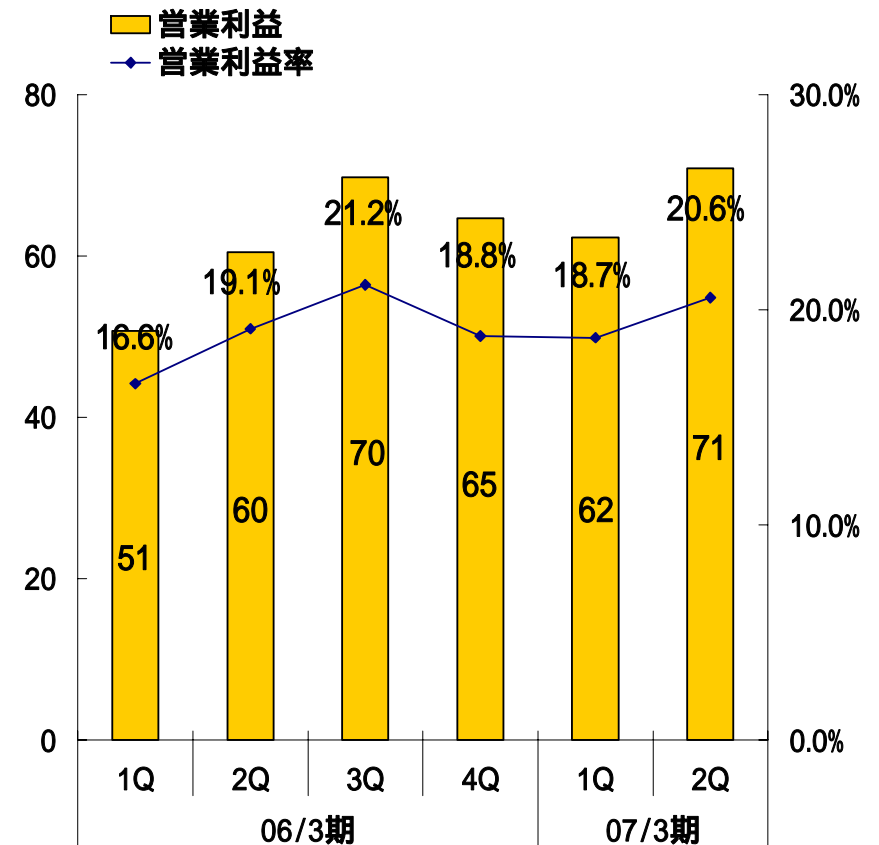
売上高

(億円)



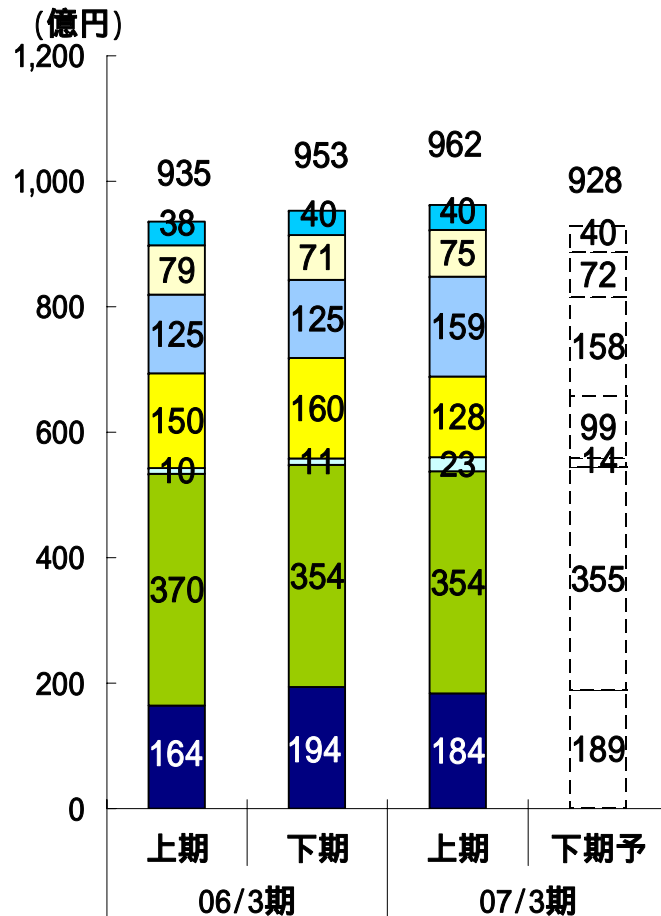
営業利益

(億円)

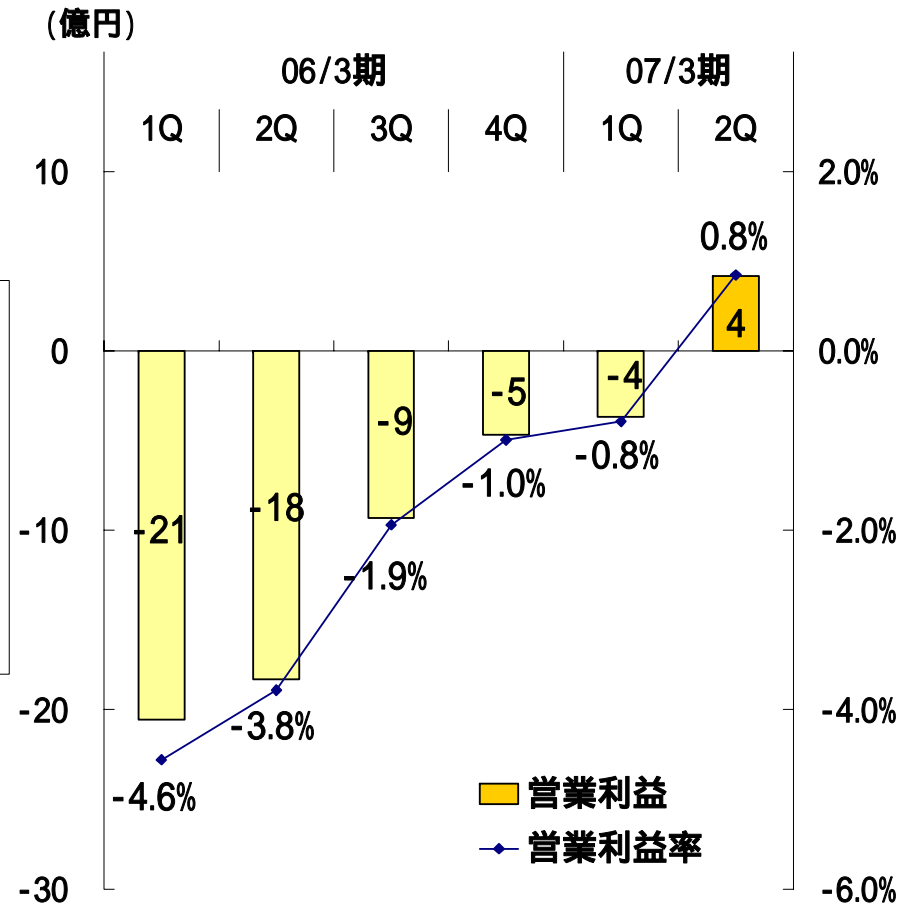


セグメント別 電子機器事業 売上高・営業利益

売上高

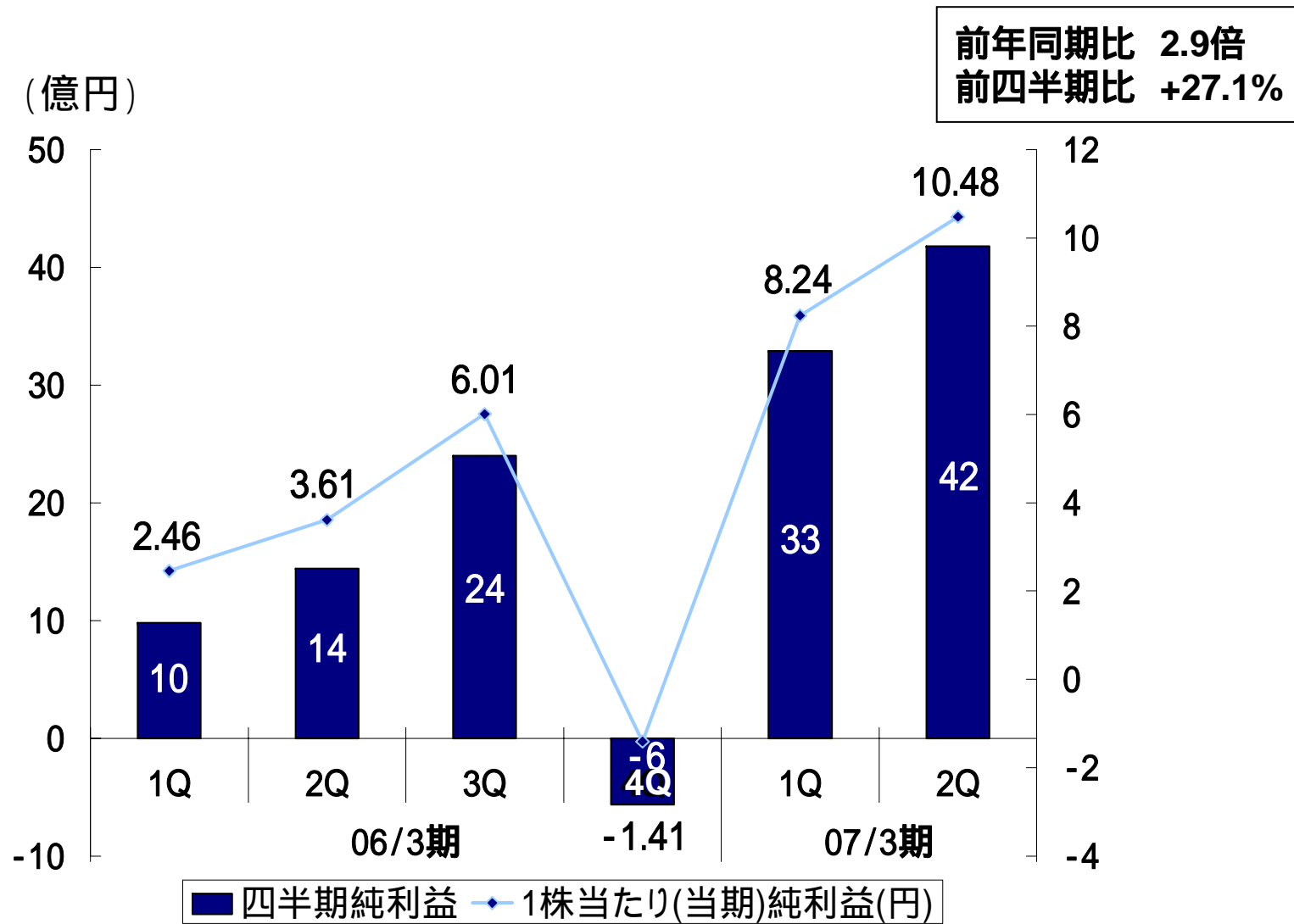


営業利益



四半期推移

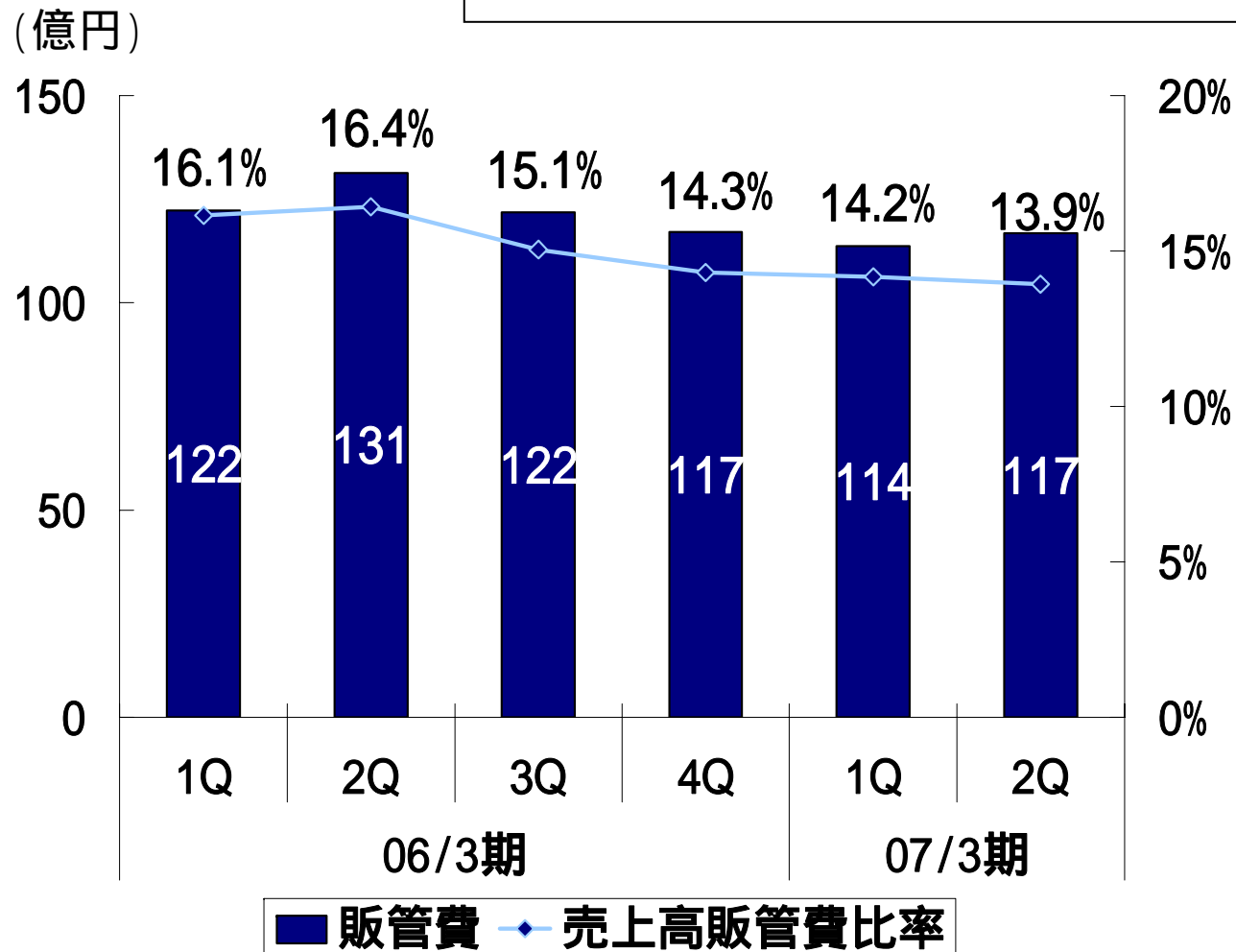
当期純利益



四半期推移

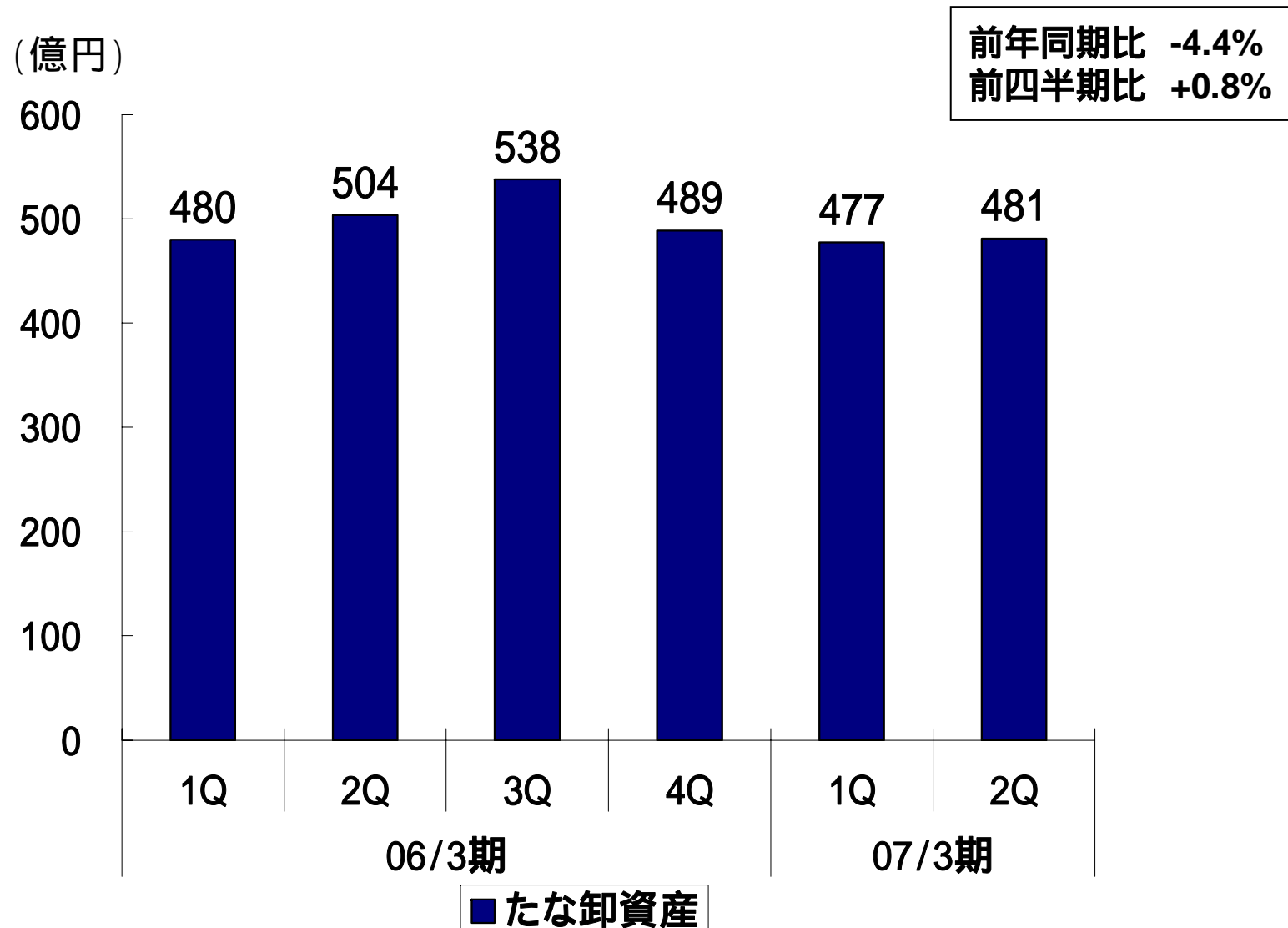
販管費

第1四半期より若干増加、今後も引き続き抑制を目指す



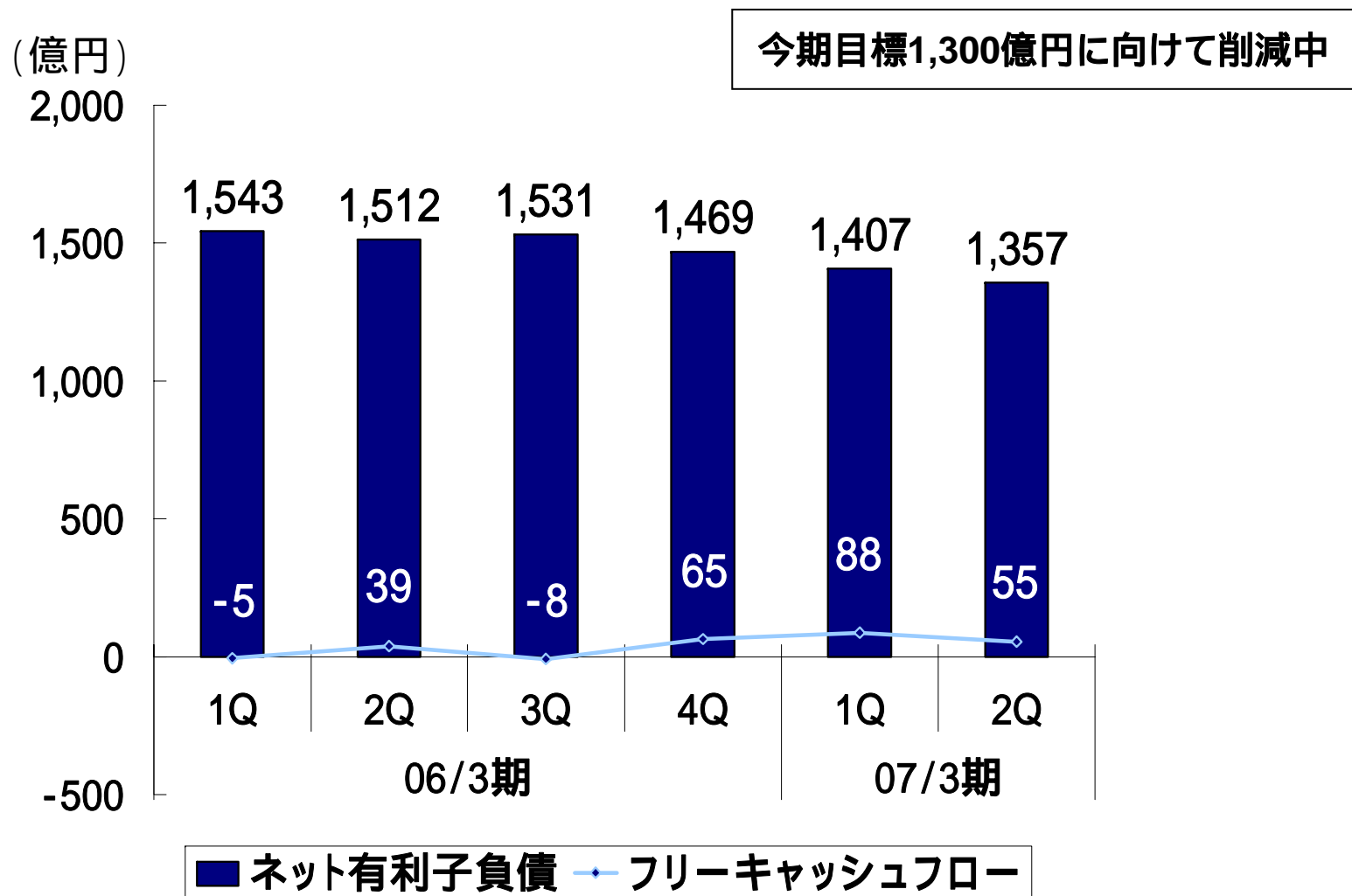
四半期推移

たな卸資産



四半期推移

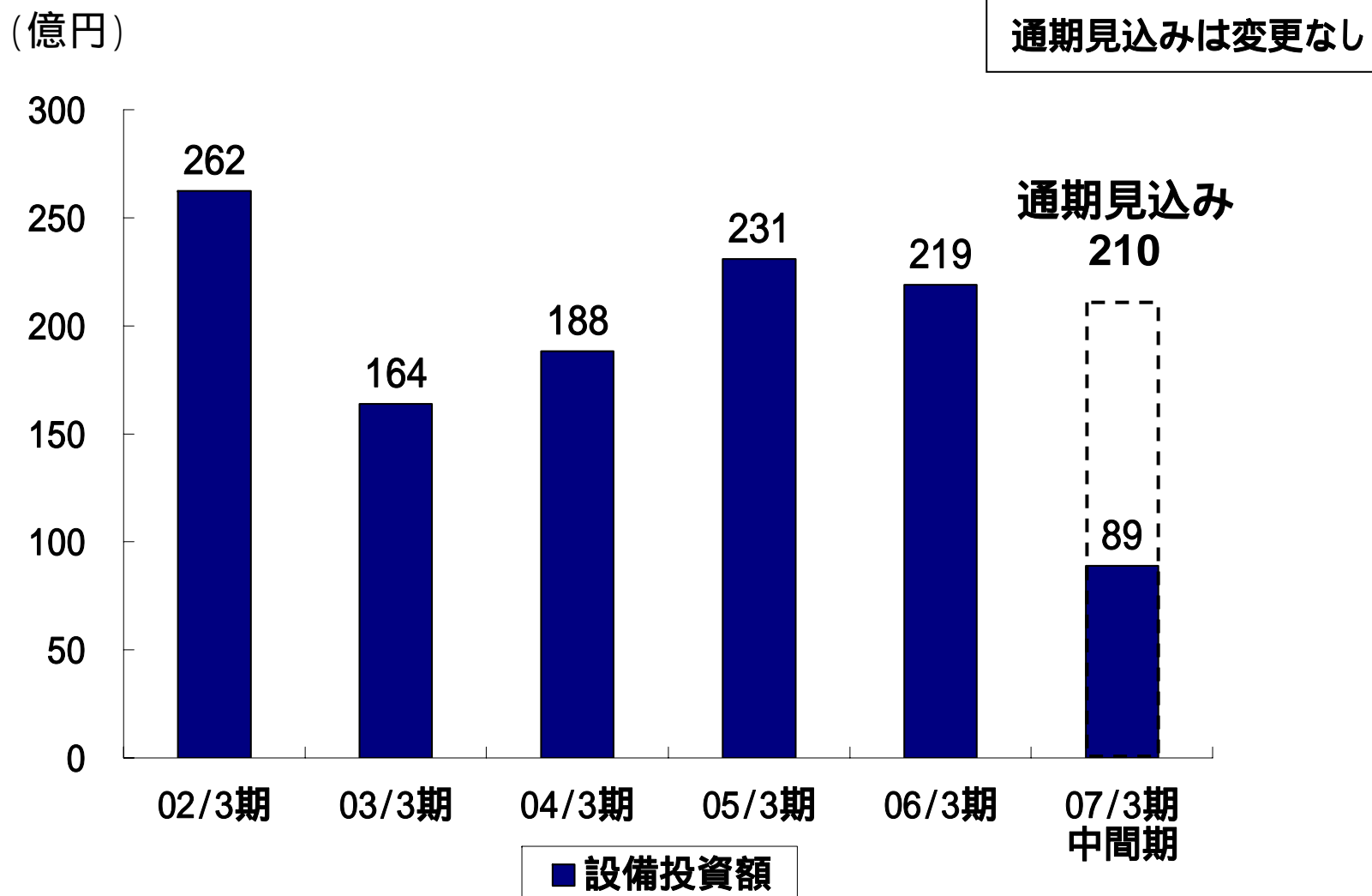
ネット有利子負債



ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金
フリーキャッシュフロー : 営業活動CF + 投資活動CF

年推移

設備投資額



通期業績予想

(百万円)	2006年3月期	2007年3月期修正予想			前年比	従来予想		従来予想比
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	伸び率	下期	通期	通期増加額
売上高	318,446	163,998	160,002	324,000	+1.7%	158,000	310,000	14,000
営業利益	19,269	13,367	14,633	28,000	+45.3%	13,500	25,000	3,000
経常利益	14,595	10,947	11,053	22,000	+50.7%	10,600	19,000	3,000
税引前利益	9,620	11,114	9,886	21,000	2.2倍	10,000	18,000	3,000
(当期)純利益	4,257	7,468	6,032	13,500	3.2倍	4,700	10,000	3,500

為替レート的前提 06/3期実績 07/3期想定
 (US\$113.09円 115.05円、 タイバーツ2.79円 3.03円)

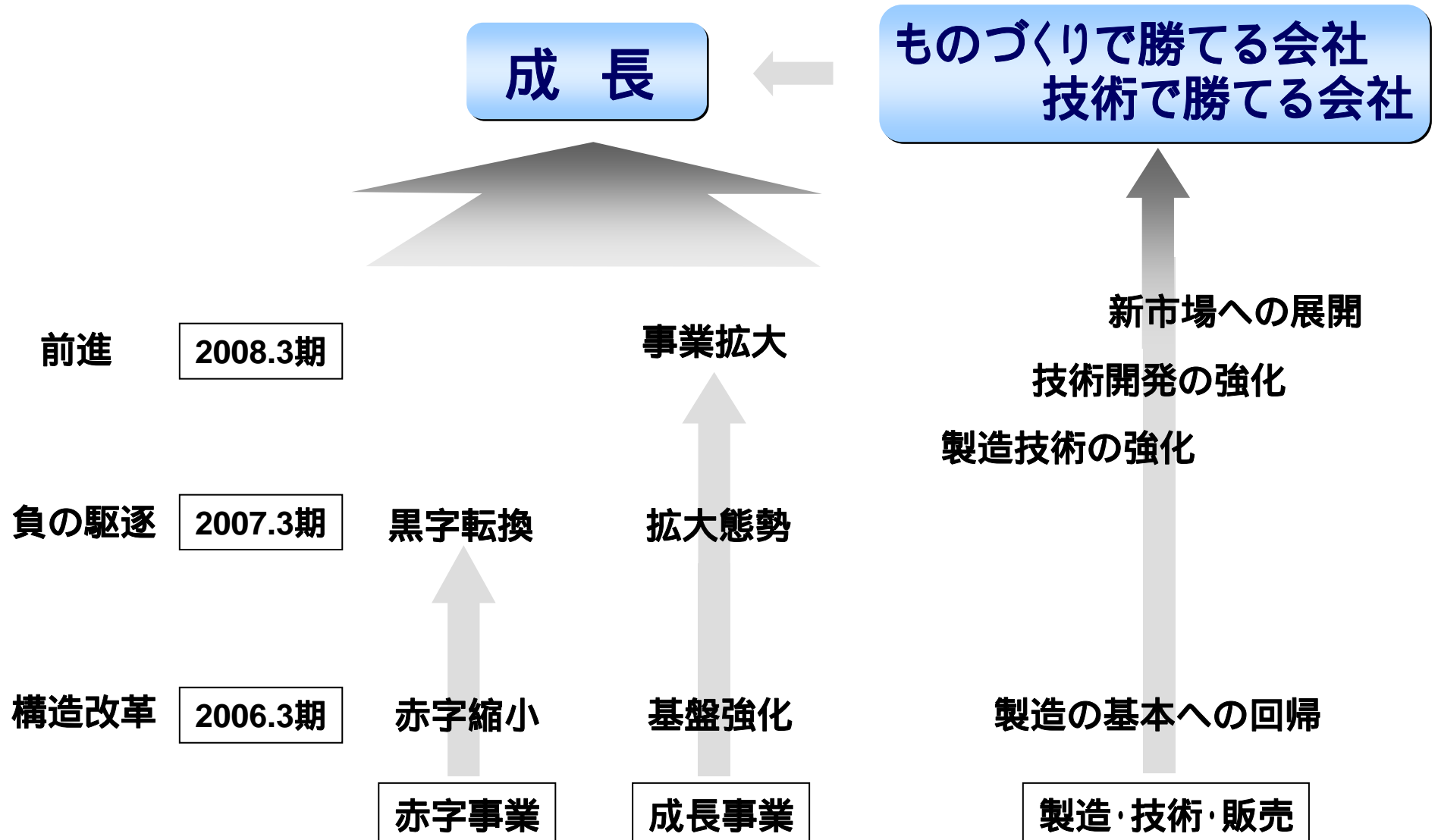
通期セグメント別予想

(百万円)	2006/3期		2007/3期		前年比 伸び率	従来予想	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想		下期	通期
(売上高)							
機械加工品	129,595	67,768	67,232	135,000	+4.2%	68,000	132,000
ベアリング関連製品	109,547	58,101	58,899	117,000	+6.8%	59,500	115,000
その他機械加工品	20,047	9,667	8,333	18,000	-10.2%	8,500	17,000
電子機器							
回転機器	188,851	96,229	92,771	189,000	+0.1%	90,000	178,000
その他電子機器	110,136	56,016	55,884	111,900	+1.6%	56,500	110,000
その他電子機器	78,715	40,213	36,887	77,100	-2.1%	33,500	68,000
合計	318,446	163,998	160,002	324,000	+1.7%	158,000	310,000
(営業利益)							
機械加工品	24,556	13,317	13,683	27,000	+10.0%	12,350	24,500
電子機器	5,287	50	950	1,000	黒転	1,150	500
合計	19,269	13,367	14,633	28,000	+45.3%	13,500	25,000

方針と戦略

代表取締役 社長執行役員 山岸 孝行

将来へ向けて



上半期の成果：マージン上昇

収益改善策の効果が現れつつある

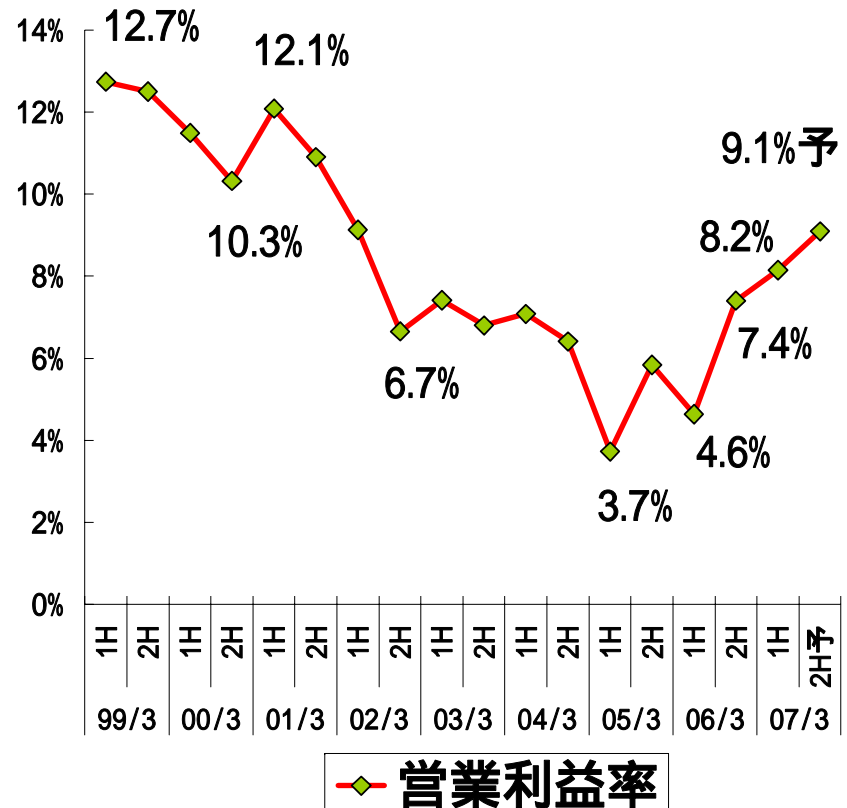
◆ 収益拡大：機械加工品セグメントは順調に増益

- 主に数量効果と原価低減

◆ 負の駆逐：電子機器セグメントが営業黒字へ転換

- ファンモーターが牽引する情報モーターの収益化
- ライティングデバイス、計測機器の収益アップ
- HDDスピンドルモーターの黒字定着

収益改善策の効果で営業利益率は上昇中



キーボード事業構造改革の実施

< 黒字化を目指して >

- 3Q ~ 4Qで不採算モデルの生産終了
生産体制の縮小（人員削減と生産設備の除却）
- 期末での月次黒字化を目指す
- 高付加価値製品への移行
ノートPC、ワイヤレスPC用キーボード中心
- 来期へ向けて
技術開発力の強化 - 基礎技術開発体制の構築
新開発技術の導入による新製品の展開

成長事業：拡大態勢の構築(1)

◆ボールベアリング = 月産2億個生産体制へ

- ミニチュアベアリングの増産
- アユタヤ・チャイチー工場の増築(組立工程)

◆ロッドエンド・航空機用ベアリング = 高付加価値化製品の粹

- 売上高はミネベアグループの10%に相当
- 工場間での役割分担の明確化(より高付加価値化を目指して)
- 技術開発部門の強化(軽井沢工場、ピーターボロー工場)
熱処理、表面処理等の特殊工程及び各種耐久試験工程
- タイ生産は生産能力及び範囲の拡大

成長事業：拡大態勢の構築（2）

◆ライティングデバイス = 更なる技術の進化

- 高輝度・超薄型バックライトの次世代製品開発
- カーナビゲーション用バックライトのビジネス化
- 中型・高輝度次世代バックライトの開発 PC用新製品を目指す
- 周辺部品との複合化を目指した製品

◆計測機器 = 市場で輝ける製品へ

- 部品加工から組立までの一貫生産ラインの構築
- 次世代製品の開発
 - 自動車用センサーの新製品開発・多目的荷重センサーの開発
 - 医療機器、健康器具等の市場での製品展開

成長事業：拡大態勢の構築(3)

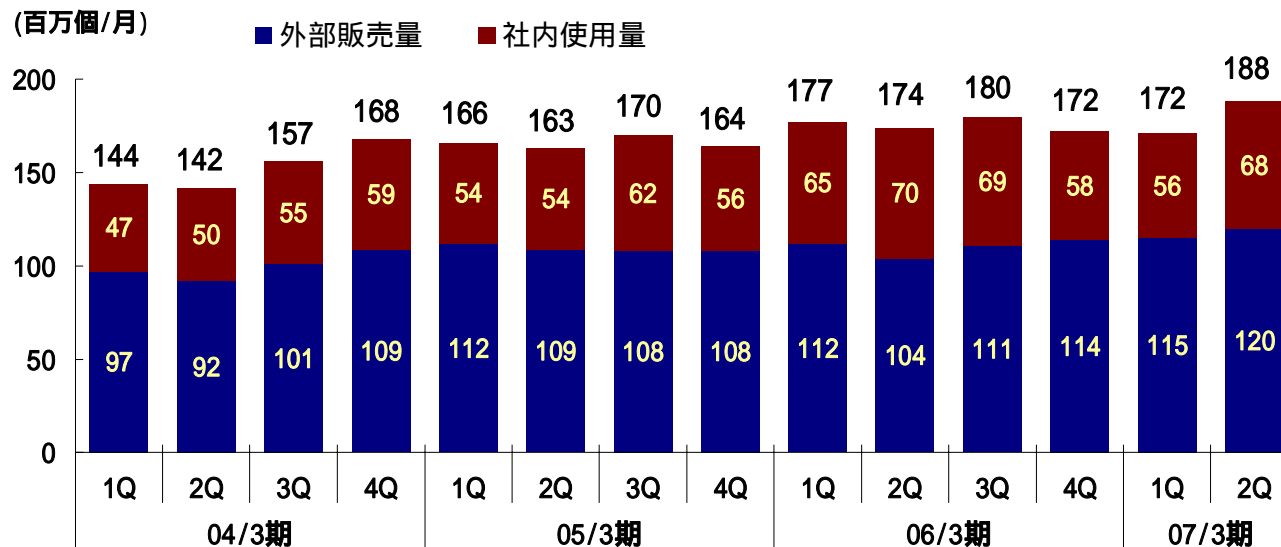
◆モーター事業 = 新たなる可能性へ

●事業の再構築と方向性の明確化

- HDD用スピンドルモーター = 量よりも質
損益重視・技術の進化と高性能・小型化へのチャレンジ
- ファンモーター = ビジネス拡大へ再挑戦
製品の付加価値化・市場の拡大と高機能化への対応
- ステッピングモーター = 製品の特長を生かし+ を
HB モーター単品から複合化へ
PM 小型化・高機能で新しい市場へ
- DCブラシモーター = 思い切った方向転換
アプリケーションの選択・損益重視・技術面からの再思考
- 振動モーター = 徹底したコストダウン
生産地の集約と受注の選択
- その他のモーター = 技術からの選択
取り組む価値を技術から見出す

ボールベアリング事業の成長力

- ◆ **市場の成長 = ミニチュアサイズの需要増加**
 - HDD(ピボットアッシー)、デジタル製品等の小型化が後押し
- ◆ **供給力と原価低減 = 月産2億個の生産体制確立**
 - 継続的な品質追及と生産性向上
 - 市場で先行する生産能力の拡大
- ◆ **ものづくりの原点回帰と技術の強化**
 - 材料から製品までの要素技術追求の体制強化
 - 先端技術を用いた生産技術面の強化



ミニチュア・小径ボールベアリング 販売数量推移

ロッドエンド・航空機用ベアリング・ ファスナー事業の成長力

世界の民間航空機需要の伸び

◆Boeing社による世界の航空需要予測

- ・今後20年間で、世界で27,210機の新規旅客機が必要と見込まれる
- ・今後20年の航空旅客需要は年率 + 4.9%成長、航空貨物需要は年率 + 6.1%成長が見込まれる

(出典: Boeing Current Outlook 2006)

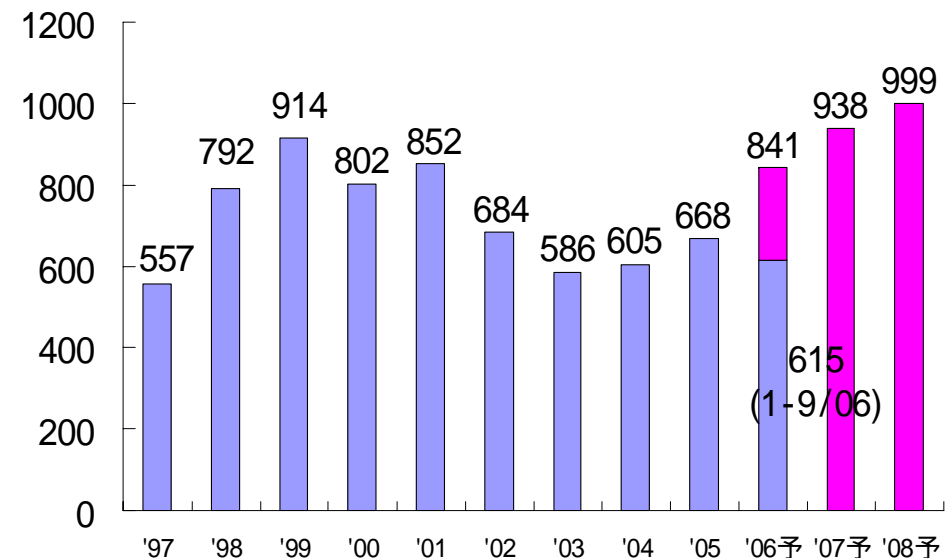
◆背景

- ・需要の増加: グローバル化の進展
- ・運賃の下落: 航空輸送のコストパフォーマンスの向上
- ・競争の激化: 航空会社の新規参入の増加/自由化の進展

◆ミネベアの航空機用部品事業

- ・ベアリング関連航空機用部品で世界シェア5割
- ・北米、欧州、日本、タイの4拠点生産体制

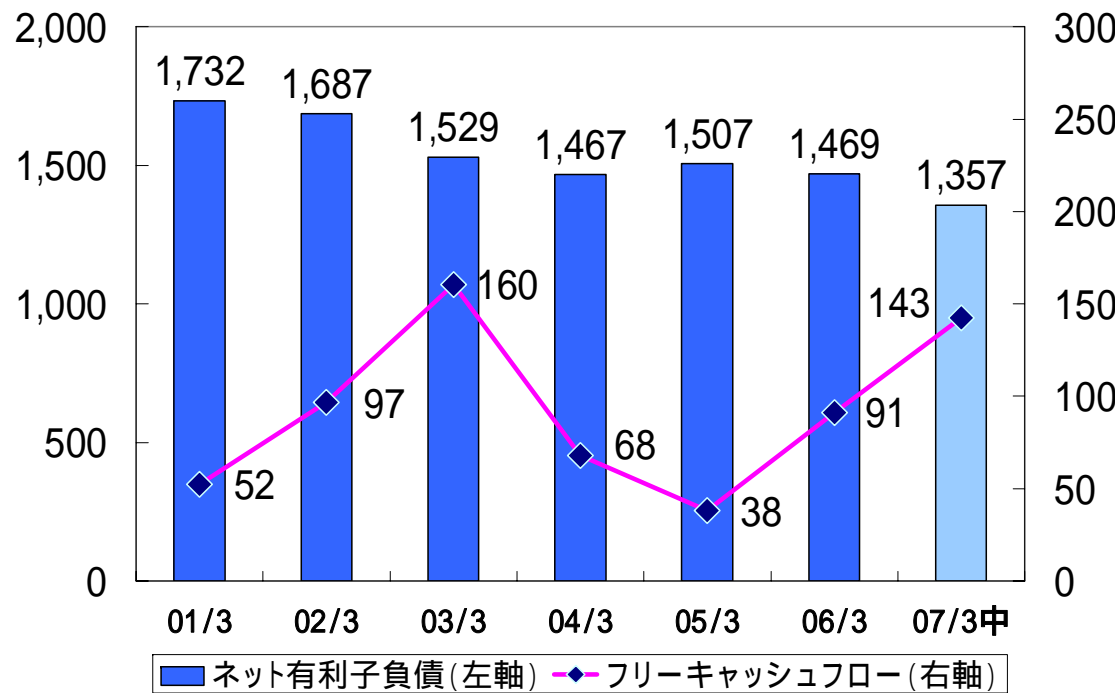
BoeingとAirbus合計の民間航空機生産機数



(出典: Boeing社、Airbus社、見込みは当社)

キャッシュフロー：有利子負債削減を最優先

- ・増加するフリーキャッシュフロー 有利子負債削減を最優先
- ・中期的に、ネット有利子負債1,000億円を目指す
- ・中間配当は、当初見込み通り、見送り
- ・増配は検討課題



2007年3月末計画 1,300億円

ネット有利子負債：有利子負債合計 - 現預金
 フリーキャッシュフロー：営業活動CF + 投資活動CF

ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。